

令和4年度 第8回 渋川市上下水道事業の経営に関する協議会 会議録概要版

開催日時 令和4年10月27日(木)午後2時から午後3時30分まで

開催会場 渋川市役所第二庁舎202会議室

出席者 渋川市上下水道事業の経営に関する協議会 委員9名

欠席委員 4名(1名代理出席)

事務局 15名

1 開 会 総務経営課総務企画係長

2 委嘱状交付 委員机上に事前配布

3 挨拶 上下水道局長

4 自己紹介

5 議 題 議事進行：会長

(1) 渋川市の下水道事業の概要(改定の目安と時期について)

《資料1》

資料説明： 総務経営課長

* 出席委員から、経費回収率、物価高騰の影響等の意見、質疑あり。

(2) その他

* 次回協議会を令和5年4月に開催したい。

6 その他

7 閉 会 総務経営課総務企画係

議題（１）渋川市の下水道事業の概要（改定の目安と時期について）

会長	議題（１）について事務局の説明を求めます。
事務局	次第、資料に基づいて説明
会長	国土交通省の社会資本整備総合交付金の重点配分から対象外になる要件のうち一つでも満たせばいいのでしょうか。
事務局	現状ではそのように通知を受けています。
会長	もし対象外となった場合は、どのくらいの影響がでますか。
事務局	国土交通省からは重点配分の対象外となった場合の具体的なことは示されていません。内定率が下がるのではないかという話があります。現在は要望した分の補助金が支給されていますが内定率を少し下げられた場合、数年単位で集計すると多額の補助金を受けられないことが予想できます。
会長	１ページにある経費回収率が低い要因として１や２も同時に改善の方法を探らないといけないと思います。
事務局	<p>使用料収入が確保につままして、使用料の改定行うのと今後整備する区域の手法がウェイトを占めると思います。</p> <p>処理施設数が多いことにつままして、民間業者に委託しています。今後は施設の統廃合もしていかなければと考えていますので、県と調整をしながら進めています。</p>
会長	具体的な形にはできていないけれども、その点についても並行して作業を進めているということですね。

事務局

おっしゃるとおりです。短期でできることはあまりないですが、行幸田住宅団地のコミュニティプラントを公共下水道につなげたりしています。

委員

2ページの経費回収率について、全国が上がっているのに対してなぜ渋川市は上がらないのでしょうか。また全国が上がっている理由についてお聞きしたいです。

8ページに総務省基準とありますが、これを達成しないと何か制限がかかたりするのでしょうか。

事務局

はじめの質問について、総務省の下水道財政のあり方に関する研究会報告書の中で、これまでの未普及地域の解消、接続率の向上に伴う有収水量の増加により、下水道事業の使用料収入が増加傾向にあると記載されています。あとは、協議会でも検討しているような使用料の改定が自治体で進んでいることが、主な要因として経費回収率を上昇させていると考えられます。

総務省の方の規制は示されていません。

会長

先ほどの回答について、接続が増えたコスト以上に使用している方からの収入の方が多かったと考えてよろしいでしょうか。

事務局

おっしゃるとおりです。先ほどの総務省の規制について、財政融資資金などのお金を借りる際に、毎年こちらの実情を話す中で「使用料の改定を早めにしてください。そうでないと審査が厳しくなります。」といったお話をもらっています。市としても、本協議会を設置し検討していることですので、何年後に使用料改定をする見込みでありますとお話ししています。そういった様々な面で影響が出ると思います。

委員	下水道に接続している方の負担は増えるのに対して、接続しない人もいるので不公平を感じると思います。未接続の方の対策はどうされているのでしょうか。
事務局	管路整備が済み接続が可能となって3年を目安に、まだ接続をしていないお宅に毎年地域を区切り戸別訪問をして接続を促しています。また、切替に関する工事について貸付金等の制度もありますので御案内しています。令和3年度末の水洗化率は84.23%となります。
会長	この数値は、他の地域と比較するとどの程度なのでしょうか。
事務局	県内平均より上ですが全国平均よりは下です。群馬県自体が比較的低いので、渋川市としてはそんなに悪くはない状況です。
委員	経費回収率が80%を達成できる試算を提示していただきたいです。
事務局	下水道使用料を約1.29倍の改定を行い、最終的な使用料を合計で算出したときに7億9700万円になれば経費回収率が80%を満たす考えになります。
会長	10%改定した場合どのくらいの改善されるのでしょうか。
事務局	一般会計からの赤字補填を受けながら運営していますので、繰入金を減らし一般会計の負担を減らす程度になります。
委員	電力やガスは国が補助を出して安く抑える動きがあります。物価高騰という中で使用料を上げるとなると一般市民の反発は強いと思います。例えば、使用料を段階的に上げていくといっ

た検討もできるのでしょうか。

事務局

水道料金も本協議会の中で10%程度の改定がいいとお話をいただいていたのですが、物価高騰が激しく動力費がかなりの負担になっていますので、どこまで水道料金を改定するのがいいか、なるべく市民の負担を考えて少し緩やかに段階を設けるといったことを考えています。下水道使用料も同じようにしたいと思っています。来年から水道料金を改定して、すぐに下水道使用料も改定できるのかとなると少し間を開けてほしいと市民の考え方があると思います。そういった状況と物価高騰の状況を勘案しながら、最終的な調整をしていきたいと考えています。

委員

今年の汚水処理経費の見込みはわかりますか。今年度は、物価高騰の影響を受けているのでランニングコストが上がってきていると思いますが。

事務局

今年度上がっている分、また来年度上がりそうという見立てはできます。今年度も半期まで終わり、動力費は1,500万円程度の増額になります。現在、令和5年度の予算をまとめていますが令和4年度の予算より3,000万円の増額を見込んでいます。経費回収率がどの程度の変動を受けるのかは、一般会計から繰入金をいただいていますので細かい試算はできませんが収入は微減程度、支出は1,500万円から3,000万円増額の見込みなので経費回収率は数%下がると考えられます。

委員

以前の協議会の時に電力は指名競争入札にしたらどうかと提案させていただきましたが、その後どうなりましたか。

事務局

新電力を検討している中でこのような社会情勢になり、新電力を導入した部署が予算が不足してしまい東京電力に戻し増額

補正をした経緯があります。安定して平均的な電気料金の供給を受けるとなると、今新電力にするのは厳しいと考えます。来年度の動力費について、下水道事業が3,000万円くらいの増額ですが、水道事業はその倍以上の増額を見込んでいます。

委員 未収金の処置はどういったことをしているのでしょうか。

事務局 令和3年度の未収金は2,000万円程度になります。令和2年度と比べ105万円の増加となりました。増加した理由は、コロナ禍ということで停水対応を行わず、水道料金と併せて徴収をしていた下水道使用料についても影響を受けたためだと考えます。回収率については、令和3年度は96.9%になります。令和2年度は98%であったため約1%の減少になります。

委員 払わない人が増えてきてしまうのではないのでしょうか。

事務局 滞納整理は委託業者が対応しています。コロナ禍のため、対面が厳しいので電話や通知等で対応をしていただいています。

事務局 停水執行につきまして、今年度の7月末から再開していますので改善が見込めます。

委員 類似の団体と比べて、経費回収率が低いのは下水道使用料が低い以外の要因はあるのでしょうか。

事務局 渋川市は類似団体平均と比較しても下回り、使用料の低さがネックになって経費回収率が低い構造になっていると考えます。

委員 使用料の低さが唯一の理由ということでしょうか。

事務局	唯一という訳ではありません。業者に委託できるところは委託して費用の削減に努めています。経営の改善として、低すぎる使用料を全国平均に近づけていく方が望ましいと考えます。
事務局	当市の使用料は一番低い状態にあり、引き続き一般会計に負担してもらうのはいけないという話になると使用料を上げるのが最善の策と考えます。
委員	7ページの現行と検討案(4段階)について実際に数値を入れたものを知りたいのですが。
事務局	8, 9, 10ページの上の表にて3案示させていただいています。一番改定率が高いのは、8ページの改定案1の総務省基準に乗っ取った64%の改定になります。
事務局	改定案1はあくまで理想の形で国が求めている水準ですが、1回での改定は現実的ではありません。改定案2、3あるいは段階的に上げることを検討していくと思います。
会長	改定案1は利用者の意見を無視して上げると、公共事業としての経営的には望ましいという理想論であってすぐに改定するのは非現実的である。改定案2、3あるいは段階的に上げる等といったことをいろいろ考えられるということでしょうか。
事務局	おっしゃるとおりです。合併以降に消費税の改定以外に一度も料金の改定を行っていません。これまでも何度か改定を行った方がいいという話は事務局でありましたが、今回は水道料金を含めてやらざるを得ない時期と認識しています。
委員	7ページの検討案に4段階とありますがこの区分数は一般的

	<p>なのでしょうか。全国的にはどの区分が多いのでしょうか。</p>
事務局	<p>A 3 の資料の右側の区分について、渋川市は 3 区分ですが 4 区分、5 区分のところもありますといったことを示させていただいています。あまり水を使わない人の負担は軽減した方がいいと考えていまして、40 m³のところを細分化して 4 区分とする検討をしています。全国的に何区分が多いのかは調査をしていませんので、次回に回答できるようにしたいと思います。</p>
会長	<p>太田市は一律の価格設定にしていますが珍しいのでしょうか。</p>
事務局	<p>珍しい料金体系だと思います。上水道は、他の自治体と一緒に群馬東部水道企業団という形で運用しています。</p>
委員	<p>2 ページを見ていただくと高崎市の経費回収率が一番高く渋川市が一番低くなっています。A 3 資料の備考欄に記載されていますが高崎市の料金は場所によって違います。</p>
会長	<p>合併当初のままを維持しているということで、そのままの形を引き継ぐのも一つの考え方であるのかと思います。</p>

議題（２） その他

会長	<p>続きまして議題の（２）その他です。 事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>次回の会議は来年の 4 月ごろに開催させていただければと思います。</p>